

団地化地域の優良事例(森林整備インタビュー！！)

長い間放置されてきた里山において、地域ぐるみで、所有者のとりまとめを行い、団地化による効率的な間伐を進め、健全な森林づくりを実施した地域のリーダーの皆さんにインタビューしました。

インタビューの内容は、団地名(市町村) 団地面積 森林所有者数 団地化に取り組んだきっかけ 森林整備をしての感想・将来の夢等



(インタビュー)
佐久穂町大字八郡 唐沢日向団地

(インタビュー)
33ha

(インタビュー)
85名

(インタビュー)
権利者の同意取得と補助残の経費がネックとなり、手入れが遅れ困惑中に、同事業がきっかけとなりました。

(インタビュー)
集約事業で、共有林を始め八郡地区の全森林を計画的に整備予定。当団地がモデルとして地域へ波及し、町全体が整備され、子供たちに誇れる森林を引き継ぎたい。



間伐前



間伐後



(インタビュー)
小諸市 菱平(りょうへい)団地

(インタビュー)
53ha

(インタビュー)
80名

(インタビュー)
手入れ不足の山林が目立ち始めたところに、H19.9月の台風で被害を受け、森林整備の大切さを思い知らされた。

(インタビュー)
菱平地区は、カラマツの一斉林が多い。郷土の樹種であるカラマツを大切に育て、豊かな森林、豊かな里山とともに未来永劫生活したい。



間伐前



間伐後



(インタビュー)
小海町東馬流みさご・宿渡勘四郎団地

(インタビュー)
15.9ha・26.2ha

(インタビュー)
30名・23名

(インタビュー)
この地域は、戦後食料増産で沢筋を農地にした場所が多く、材の搬出に団地化が必要でした。

(インタビュー)
事業実施により、手入れの遅れた林が見違えるような森林となり、今更ながら、カラマツ林のすばらしさを実感しています。



間伐前



間伐後



(インタビュー)
佐久市 松井-常和団地

(インタビュー)
89ha

(インタビュー)
44名

(インタビュー)
地区景観整備のための森林整備にH19.9月台風の被害が重なり、地域で森林整備の気運が高まったことです。

(インタビュー)
道沿いでの切捨て間伐に異議を唱える住民もいますが、やって見せたことで、地域の関心は更に高まった。内山全体の森林整備を今後も進めていきたい。



間伐前



間伐後